

RESCUCENDER

0082 TPTC 019/2011 EN 1891

EN 567: 2013 9 $\leq \varnothing \leq 13\text{ mm}$
 EN 12841 type B: 2006 10 $\leq \varnothing \leq 13\text{ mm}$

Rope clamp
Bloqueur

WARNING / ATTENTION

Activities involving the use of this equipment are inherently dangerous. You are responsible for your own actions and decisions.

Before using this equipment, you must:

- Read and understand all Instructions for Use.
- Get specific training in its proper use.
- Become acquainted with its capabilities and limitations.
- Understand and accept the risks involved.

FAILURE TO HEED ANY OF THESE WARNINGS MAY RESULT IN SEVERE INJURY OR DEATH.



Les activités impliquant l'utilisation de cet équipement sont par nature dangereuses. Vous êtes responsable de vos actes, de vos décisions et de votre sécurité.

Avant d'utiliser cet équipement, vous devez :

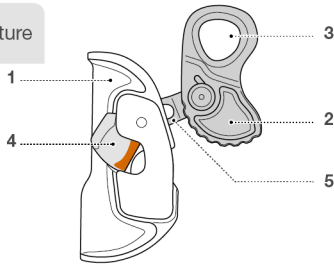
- Lire et comprendre toutes les instructions d'utilisation.
- Vous former spécifiquement à l'utilisation de cet équipement.
- Vous familiariser avec votre équipement, apprendre à connaître ses performances et ses limites.
- Comprendre et accepter les risques induits.

LE NON-RESPECT D'UN SEUL DE CES AVERTISSEMENTS PEUT ÊTRE LA CAUSE DE BLESSURES GRAVES OU MORTELLES.

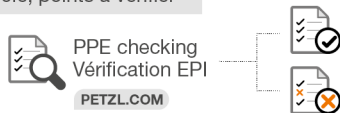


1. Field of application (text part) Champ d'application (partie texte)

2. Nomenclature



3. Inspection, points to verify Contrôle, points à vérifier



4. Compatibility (text part) Compatibilité (partie texte)

NFPA CERTIFICATION FOR CERTIFICATION NFPA POUR RESCUCENDER

MEETS THE ROPE GRAB REQUIREMENTS OF CONFORME AUX EXIGENCES BLOQUEURS SUR CORDE DE

NFPA 1983, STANDARD ON LIFE SAFETY ROPE AND EQUIPMENT FOR EMERGENCY SERVICES, 2017 EDITION.

EMERGENCY SERVICES ROPE GRAB IN ACCORDANCE WITH NFPA 1983-2017.



MEETS NFPA 1983 (2017 ED.)

Use only **TECHNICAL** or **GENERAL USE LIFE SAFETY ROPES**, (core + sheath) diameter between 10 mm and 13 mm.

This ROPE GRAB has passed the manner of function test using the following rope: [STERLING HTP static P105, 3/8", 10mm] and [TEUFELBERGER FIBER ROPE KMIII 1/2", 13mm]

Utilisez uniquement des **TECHNICAL** ou **GENERAL USE LIFE SAFETY ROPES**, dont le diamètre (âme + gaine) est compris entre 10 mm et 13 mm.

Ce bloqueur sur corde a passé les tests de fonctionnement avec les cordes suivantes : [STERLING HTP static P105, 3/8", 10mm] and [TEUFELBERGER FIBER ROPE KMIII 1/2", 13mm]

Après avoir détaché la notice du produit, faites en une copie et gardez l'original dans un dossier qui compile l'historique de vie du produit et les vérifications EPI réalisées. Gardez une copie de la notice avec le produit et consultez-la avant et après chaque utilisation. Des informations complémentaires sont disponibles dans les normes : NFPA1500, Standard on Fire Department Occupational Safety and Health Program, and NFPA 1983, Standard on Fire Service Life Safety Rope and System Components.*

After removing the Instructions for Use from the equipment, make a copy of it and keep the original as part of a permanent record that includes the usage and inspection history for the equipment. Keep the copy of the Instructions for Use with the equipment and refer to it before and after each use. Additional information regarding auxiliary equipment can be found in NFPA 1500, Standard on Fire Department Occupational Safety and Health Program, and NFPA 1983, Standard on Fire Service Life Safety Rope and System Components.

Traceability and markings Traçabilité et marquage

a. **b.** 0082
APAVE SUDEUROPE SAS
 8 rue Jean-Jacques Vernazza
 Z.A.C. Saumaty-Séon - CS 60193
 13322 Marseille CEDEX 16 France
 N°0082

e. Individual number / Numéro individuel
 YY M 0000000 000
f. _____
g. _____
h. _____
i. _____

PETZL.COM



Warning symbols
Panneaux d'alertes

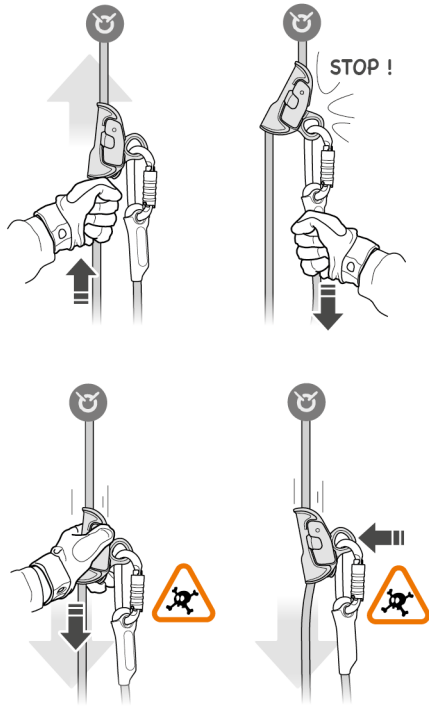


PETZL
F-38920 Crolles
Cidex 105A
PETZL.COM
ISO 9001 © Petzl



Sustaining our Community
Au service de la Communauté
FONDATION-PETZL.ORG

5. Function principle and test
Principe et test de fonctionnement



7. Additional information
Informations complémentaires

A. Lifetime / Durée de vie



B. Acceptable T°
T° tolérées



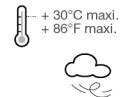
C. Precautions for use / Précautions d'usage



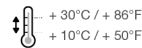
D. Cleaning / Nettoyage



E. Drying / Séchage



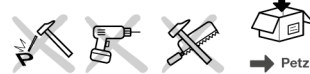
F. Storage - Transport
Stockage - transport



G. Maintenance
Entretien



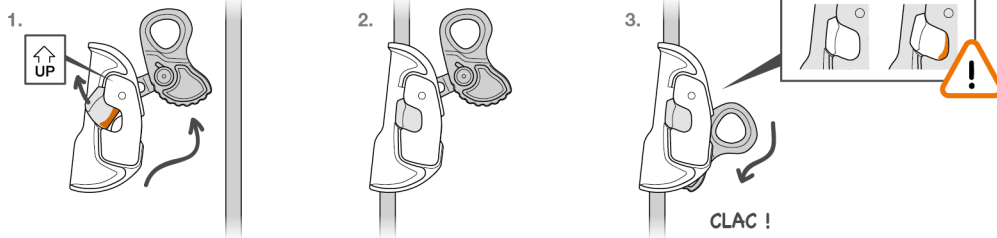
H. Modifications - Repairs
Modifications - Réparations



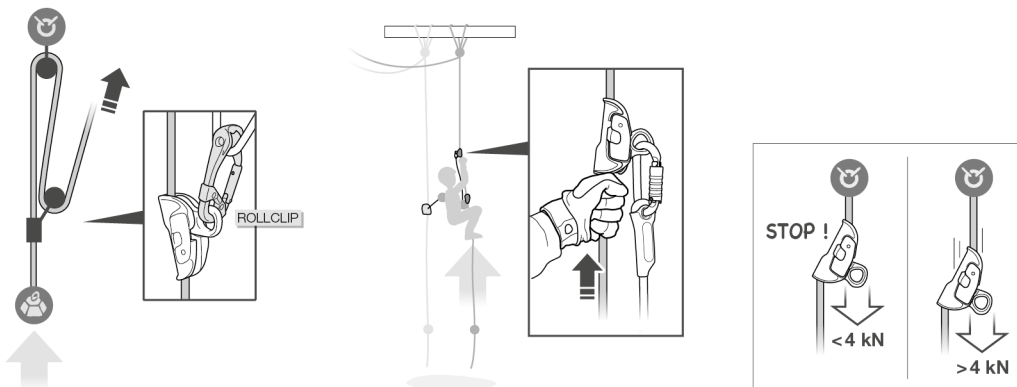
I. FAQ - Contact
Questions - Contact



6. Installation



Usage examples
Exemple d'utilisation



本書では、製品の正しい使用方法を説明しています。技術や使用方法については、いくつかの例のみを掲載しています。製品の使用に関連する危険については、警告のマークが付いています。ただし、製品の使用に関連する危険の全てをここに網羅することはできません。最新の情報や、その他の補足情報等は Petzl.com で参照できますので、定期的に確認してください。警告および注意事項に留意し、製品を正しく使用する事は、ユーザーの責任です。本製品の誤使用は危険を増加させます。疑問点や不明な点は(株)アルテリア (TEL 04-2968-3733) にご相談ください。

1.用途

本製品は墜落からの保護を目的として使用する個人保護用具 (PPE) です。ロープクランプです。最大使用荷重: 140 kg 本製品の限界を超えるような使用をしないでください。また、本来の用途以外での使用はしないでください。

責任

警告
この製品を使用する活動には危険が伴います。ユーザー各自が自身の行為、判断、および安全の確保についてその責任を負うこととします。

使用する前に必ず:
- 取扱説明書をよく読み、理解してください
- この製品を正しく使用するための適切な指導を受けてください
- この製品の機能とその限界について理解してください
- この製品を使用する活動に伴う危険について理解してください

これらの注意事項を無視または軽視すると、重度の傷害や死につながる場合があります。

この製品は使用方法を熟知して責任能力のある人、あるいはそれらの人から目の届く範囲で直接指導を受けられる人のみ使用してください。ユーザー各自が自身の行為、判断、および安全の確保について責任を負い、またそれによって生じる結果についても責任を負うこととします。各自で責任がとれない場合や、その立場にない場合、また取扱説明の内容を理解できない場合は、この製品を使用しないでください。

2.各部の名称

(1) フレーム、(2) カム、(3) アタッチメントホール、(4) セーフティキャッチ、(5) リンク
主な素材: アルミニウム、ステンレススチール

3.点検のポイント

器具の状態は、ユーザーの安全に大きく関係します。ペツルは、十分な知識を持つ適任者による詳細点検を、少なくとも 12ヶ月ごとに行うことをお勧めします (国や地域における法規や、使用状態によっても変わります)。Petzl.com で説明されている方法に従って点検してください。点検の結果を記録してください。点検記録に含める内容: 種類、モデル、製造者の連絡先、個別番号、製造日、購入日、初回使用時の日付、次回点検予定日、問題点、コメント、点検者の名前と署名。

毎回、使用前に

フレーム、カム、アタッチメントホール、リンクに亀裂、傷、変形、摩耗、腐食がないことを確認してください。カムの動きとスプリングの状態に問題がないことを確認してください。

使用中の注意点

この製品および併用する器具 (連結している場合は連結部を含む) に常に注意を払い、状態を確認してください。全ての構成器具が正しくセットされていることを確認してください。異物が挟まることにより、カムの動きが妨げられることがあるため、注意してください。カムに外的な力加わらないように注意してください。ロープの状態 (泥、氷等) を確認してください。

4.適合性

この製品がシステムの中のその他の器具と併用できることを確認してください (併用できる = 相互の機能を妨げない)。RESCUCENDER と併用する器具は、使用する国における最新の規格に適合していなければなりません (例: ヨーロッパにおけるコネクターの規格 EN 362)。EN 1891 タイプ A に適合したセミスタティックロープを使用してください。EN 567 に適合したロープクランプとして使用する場合は、直径 9 ~ 13 mm のロープを使用してください。EN 12841 に適合したロープクランプとして使用する場合は、直径 10 ~ 13 mm のロープを使用してください。 (認証テストではベアール『Antipodes 10 mm』、ペツル『GRIP 13 mm』が使用されました)

5.機能の原理と確認

RESCUCENDER は、ロープ上を一方方向にはスライドし、反対方向に引いた場合にはロックします。アタッチメントホールに荷重がかかると、カムが回転してロープを挟みます。カムの動きが妨げられないようにしてください。警告: 器具のフレームを引くと、ロック機能が損なわれます。カムに不適切な力加わると、ロック機能が損なわれます。RESCUCENDER を手全体でつかまさないでください。

6.RESCUCENDER のセット

カムを開くには、2つのセーフティキャッチを同時に引いてください。器具を閉じた時は毎回、セーフティキャッチがしっかりと閉じられていること (赤い警告表示が見えないこと) を確認してください。

器具をロープにセットした時は毎回、荷重がかかる方向に引いてロックすることを確認してください。

使用例

ホーリング。
ロープ登高のためのロープクランプ: 2つのロープクランプを使用するか、バックアップ用システムを使用する、もしくはその両方を行うことを推奨します。ランヤード + コネクター + 器具の長さが 1 m を超えないようにしてください。長さの制限に関する推奨事項を守ってください。器具に衝撃荷重がかかるのを避けるため、ロープ (器具と支点の間) はたるませず、常にテンションがかかった状態を保つ必要があります

7.補足情報

本製品は個人保護用具に関する規則 (EU) 2016/425 に適合しています。EU 適合宣言書は Petzl.com で確認できます。
- RESCUCENDER を EN 12841 に適合したロープクランプとして使用する場合は、必ずバックアップ用ロープにセットしたタイプ A のバックアップ器具と併用してください
- RESCUCENDER は、フォールアレストシステムでの使用には適していません
- バックアップ用ロープを、ワークポジショニングのために使用しないでください
- 動的に過度な荷重がかかると、バックアップ用ロープが損傷する可能性があります
- ユーザーは、この製品の使用中に問題が生じた際にすみやかに対処できるよう、レスキュープランとそれに必要となる装備をあらかじめ用意しておく必要があります
- システム用のアンカーは、ユーザーの体より上にとるようにしてください。アンカーは、最低でも 12 kN の強度を持ち、EN 795 の要求事項を満たしていなければなりません
- フォールアレストシステムでは、墜落した際に地面や障害物に衝突することがないよう、毎回使用前に十分なクリアランスがユーザーの下に確保されていることを確認する必要があります
- 墜落距離を短くし、危険を少なくするため、アンカーが適切な位置に設置されていることを確認してください
- フォールアレストシステムで身体のサポートに使用できるのは、フォールアレストハーネスのみです
- 複数の器具を同時に使用する場合、1つの器具の安全性が、別の器具の使用によって損なわれることがあります
- 警告、危険: 製品がざらざらした箇所や尖った箇所ですべらないように注意してください
- ユーザーは、高所での活動が行える良好な健康状態にあることが必要です。警告: ハーネスを着用して動きの取れない状態のまま吊り下げられると、重度の傷害や死に至る危険があります
- 併用する全ての用具の取扱説明書をよく読み、理解してください
- 取扱説明書は、製品と一緒にユーザーの手に届かなければなりません。また、取扱説明書は製品が使用される国の言語に訳されていないければなりません
- 製品に記されたマーキングが読めなくならないように注意してください

廃棄基準:

警告: 極めて異例な状況においては、1回の使用で損傷が生じ、その後使用不可能になる場合があります (劣悪な使用環境、海に近い環境での使用、鋭利な角との接触、極端な高/低温下での使用や保管、化学薬品との接触等)。以下のいずれかに該当する製品は以後使用しないでください:
- 大きな墜落を止めた、あるいは非常に大きな荷重がかかった
- 点検において使用不可と判断された。製品の状態に疑問がある
- 完全な使用履歴が分からない
- 該当する規格や法律の変更、新しい技術の発達、また新しい製品との併用に適さない等の理由で、使用には適さないと判断された
このような製品は、以後使用されることを避けるため廃棄してください。
アイコン:
A. 耐用年数 (特に設けていません) - B. 使用温度 - C. 使用上の注意 - D. クリーニング - E. 乾燥 - F. 保管/持ち運び - G. メンテナンス - H. 改造/修理 (パーツの交換を除き、ペツルの施設外での製品の改造および修理を禁じます) - I. 問い合わせ

3年保証

原材料および製造過程における全ての欠陥に対して適用されます。以下の場合は保証の対象外とします: 通常の磨耗や傷、酸化、改造や変更、不適切な保管方法、メンテナンスの不足、事故または過失による損傷、不適切または誤った使用方法による故障。

警告のマーク

1. 重傷または死につながる恐れがあります。2. 事故や怪我につながる危険性があります。3. 製品の機能や性能に関する重要な情報です。4. してはいけない内容です。

トレーサビリティとマーキング

a. 個人保護用具の規格の要求事項に適合。EU 型式検定を行った公認認証機関 - b. この個人保護用具の製造を監査する公認機関の ID 番号 - c. トレーサビリティ: データマトリクスコード - d. 直径 - e. 個別番号 - f. 製造年 - g. 製造月 - h. ロット番号 - i. 個体識別番号 - j. 規格 - k. 取扱説明書をよく読んでください - l. モデル名 - m. 製造者住所

본 설명서는 장비를 정확하게 사용하는 방법을 설명한다. 특정 기술 및 사용방법만을 소개한다. 사용자의 장비 사용과 관련된 잠재적인 위험에 대한 정보를 전달하나 모든 것을 설명하는 것은 불가능하다. 최신 정보 및 추가 정보는 Petzl.com을 확인한다. 각각의 경고 내용 확인 및 정확한 장비 사용은 사용자에게 책임이 있다. 장비의 오용은 추가적인 위험을 야기할 수 있다. 본 설명서를 이해하는데 어려운 점이나 의문점이 있으면 (주)안나푸르나로 연락한다.

1. 적용 분야

이 장비는 추락 보호의 용도로 사용되는 개인 보호구이다 (PPE).

로프 크램프, 정상적인 최대 하중: 140 kg. 본 제품은 자체 강도 이상으로 힘을 가해서는 절대 안되며 제작 용도 이외의 다른 목적으로 사용되어서는 안된다.

책임

주의사항
이 장비의 사용과 관련된 활동은 위험성이 내재되어 있다. 자신의 행동이나 결정, 그리고 안전에 대한 책임은 사용자에게 있다.

이 장비를 사용하기 전에, 반드시 알아야 할 사항:
- 사용에 관한 모든 설명서를 읽고 이해하기.
- 장비의 적합한 사용을 위한 구체적인 훈련받기.
- 장비의 사용법과 사용 한도에 대해 숙지하고 친숙해지기.
- 관련된 위험을 이해하고 숙지하기.

이런 경고를 유념하지 않으면 심각한 부상이나 사망을 초래할 수 있다.

이 장비는 전문가와 책임질 수 있는 사람만이 사용할 수 있고, 전문가의 직접적이고 눈으로 볼 수 있는 통솔 아래 사용되어야 한다.

행동이나 결정, 그리고 안전에 대한 책임은 사용자에게 있으며 결과물에 대해 예측할 수 있어야 한다. 모든 위험을 책임질 능력이 없거나 그런 위치에 있지 않다면, 그리고 사용설명서를 충분히 이해하지 못했다면 본 장비를 사용하지 않는다.

2. 부분명칭

(1) 프레임, (2) 캠, (3) 연결 구멍, (4) 안전 캐치, (5) 링크.
주요 재료: 알루미늄, 스테인리스 강.

3. 검사 및 확인사항

사용자의 안전은 장비의 상태와 연관성이 있다. 폐출은 적어도 일년에 한 번 이상 전문가의 세부 검사를 받을 것을 권장한다(사용 국가의 현재 규정과 사용자의 사용 환경에 따른 것). 폐출의 웹사이트 Petzl.com에 설명된 절차를 따른다. PPE 장비 서식에 유형, 모델, 제조자 정보, 일련번호 또는 개별 번호, 제조일, 구매일, 최초 사용일, 검사 내용, 문제점, 검사관의 이름 및 서명 등의 PPE 검사 결과를 기록한다.

매번 사용 전에

크랙, 변형, 부식이 없는지 확인한다(프레임, 캠, 연결 구멍, 링크). 캠의 움직임과 스프링의 효율성을 확인한다.

제품 사용 중

제품의 상태와 장치에 연결된 다른 장비와의 연결 부분을 정기적으로 검사하는 것이 매우 중요하다. 장비에 연결된 모든 아이템들이 잘 연계되어 정확한 위치에 놓여 있는지 확인한다. 캠이 로프쪽으로 밀어주는 동작을 방해할 수 있는 이물질이 있는지 확인한다. 캠의 외부 압력을 확인한다. 로프의 상태를 확인한다 (진흙, 얼음...).

4. 호환성

본 제품이 사용시 다른 장비와 호환 되는지 확인한다 (호환이 된다 = 순기능적 상호작용). RESCUCENDER와 함께 사용되는 장비는 사용 국가의 현재 기준에 부합되어야 한다(예, EN 362 카라비너). EN 1891 A 형태 세미-스태틱 케텐맨을 로프를 사용한다. EN 567 의 구조에서는 9-13 mm 직경의 로프를 사용한다. EN 12841 의 구조에서는 10-13 mm 직경의 로프를 사용한다. (비고: 인증서 실험은 BEAL Antipodes 10 mm 및 폐출 PETZL GRIP 13 mm 로프 수행된다).

5. 성능 원칙 및 테스트

RESCUCENDER는 로프를 따라 한쪽 방향으로 미끄러지며 다른 방향으로 잠긴다. 연결 구멍이 당겨지면 캠이 회전하며 프레임에 로프를 조인다. 캠은 항상 자유롭게 움직일 수 있어야 한다. 경고: 장비의 프레임이 당겨지면 잠금 성능을 방해할 수 있다. 장비에 가해지는 어떤 압력도 잠금 성능에 지장을 줄 수 있다. 손 전체를 사용하여 RESCUCENDER를 잡지 않는다.

6. RESCUCENDER 설치하기

2개의 안전 캐치를 당기면 즉각적으로 캠이 열린다. 장비를 닫을 때마다 안전 캐치가 정확히 닫는지 체크한다 (적색 표시가 보이지 않아야 한다). 장비를 설치할때마다 로프가 원하는 방향으로 잠기는지 확인한다.

사용 예

운반하기. 진행을 위한 로프 크램프: 2개의 로프 크램프를 함께 사용하거나 백업 확보 시스템을 사용할 것을 권장한다. 최대 1m의 연결된 제품 조합(랜야드 + 연결장비 + 장비)을 사용한다. 최대 권장 길이를 준수한다. 자유 추락 위험을 줄이기 위해 로프 크램프와 확보물 사이의 로프는 항상 팽팽한 상태를 유지해야 한다.

7. 추가 정보

본 제품은 개인 보호 장비에 관한 규정 (EU) 2016/425 의 필수 요건에 부합한다. EU 표준 적합성 선언서는 Petzl.com에서 확인 가능하다.

- EN 12841 기준의 구조에서 RESCUCENDER는 반드시 2차 (안전) 로프상에서 A 유형의 백업 장치와 함께 사용해야 한다.

- RESCUCENDER는 추락 제동 시스템으로 적합치 않다.
- 작업 로프에 하중이 실렸을때 안전 로프에는 하중을 실리지 않도록 한다.
- 동적 초과 하중은 안전 로프를 손상시킬 수 있다.
- 장비 사용 도중에 우연히 부딪치게 될 위험에 대비하여, 반드시 신속하게 이행할 수 있는 구조 계획과 방법을 가지고 있어야 한다.
- 장치의 확보 지점은 사용자 위치보다 위에 설치되어야 하고, 반드시 EN 795 규정의 요건을 충족해야 한다 (최소강도 12 kN).

- 추락 제동 시스템에서, 매번 사용 전 지면에 충돌하거나 추락 시 방해물을 피하기 위해 사용자 아래로 필요한 이격거리를 확인하는 것은 필수이다.
- 위험 및 추락 높이를 제한하기 위해 확보지점이 정확히 위치하고 있는지 확인한다.

- 추락 제동 안전대는 추락 제동 시스템에서 사용자의 신체를 지탱하는 장비로만 사용된다.
- 여러 개의 장비를 함께 사용할 때 한 가지 장비의 안전 성능이 다른 장비의 작동과 연관되어 있다면 위험한 상황을 불러올 수 있다.

- 위험 경고, 장비가 거친, 날카로운 표면에 마찰되지 않도록 주의한다.
- 사용자는 고소 활동시 신체적 문제가 없어야 한다. 경고: 안전대에서 자력으로 행동할 수 없는 상태로 매달리는 것은 심각한 부상이나 사망을 초래할 수 있다.

- 이 제품과 함께 사용되는 각 장비의 사용 설명서에 반드시 따르다.
- 본 제품의 사용설명서는 장비가 사용되는 국가의 언어로 제공되어야만 한다.

- 제품의 마킹은 알아볼 수 있는 상태여야 한다.
장비 폐기 시점:
경고: 제품의 수명은 제품의 형태, 사용 강도 및 사용 환경에 따라 단 한번의 사용으로도 줄어들 수도 있다 (거친 환경, 고습 환경, 날카로운 모서리, 극한의 기온, 화학 제품 등).

다음과 같은 상태에서는 제품 사용을 중단한다.
- 심한 추락이나 하중을 받은 적이 있는 경우.
- 검사에 통과하지 못한 경우. 장비의 보존상태가 의심되는 경우.
- 장비에 대한 기록을 전혀 모를 경우.
- 적용 규정, 기준, 기술의 변화 또는 다른 장비와 호환되지 않는 경우 등.

이러한 장비가 다시 사용되는 일이 없도록 폐기할 것.
제품 참조:
A. 수명: 무제한 - B. 허용 온도 - C. 사용 주의사항 - D. 세탁 - E. 건조 - F. 보관/운반 - G. 제품 관리 - H. 수리/수선 (폐출 시설 외부에서는 부품 교체를 제외한 수리 금지) - I. 문의사항/연락

3 년간 보증

원자재 또는 제조상의 결함에 대해 3년간의 보증기간을 갖는다. 제외: 일반적인 마모 및 찌김, 산화, 제품 변형 및 개조, 부적절한 보관, 올바르게 사용하지 않은 유지 관리, 사용자 부주의, 제작 용도 이외의 사용 등.

주의 사항

1. 심각한 부상 또는 사망의 갑작스런 위험이 존재하는 상황. 2. 사고 또는 부상의 잠재적인 위험에 노출. 3. 사용자의 장비의 성능 및 작업 수행에 대한 중요한 정보. 4. 장비 비호환성.

추적 가능성과 제품 부호

a. PPE 규정의 요구 사항을 충족한다. EU 유형 시험 수행 기관 - b. 본 PPE의 생산 관리를 수행하는 인증 기관의 번호 - c. 추적 가능성: 데이터 매트릭스 - d. 직경 - e. 일련 번호 - f. 제조 년도 - g. 제조일 - h. 배치 번호 - i. 개별 식별번호 - j. 기준 - k. 사용 설명서를 주의 깊게 읽는다 - l. 모델 식별 - m. 제조업체 주소

주의 사항

1. 심각한 부상 또는 사망의 갑작스런 위험이 존재하는 상황. 2. 사고 또는 부상의 잠재적인 위험에 노출. 3. 사용자의 장비의 성능 및 작업 수행에 대한 중요한 정보. 4. 장비 비호환성.

추적 가능성과 제품 부호

a. PPE 규정의 요구 사항을 충족한다. EU 유형 시험 수행 기관 - b. 본 PPE의 생산 관리를 수행하는 인증 기관의 번호 - c. 추적 가능성: 데이터 매트릭스 - d. 직경 - e. 일련 번호 - f. 제조 년도 - g. 제조일 - h. 배치 번호 - i. 개별 식별번호 - j. 기준 - k. 사용 설명서를 주의 깊게 읽는다 - l. 모델 식별 - m. 제조업체 주소

คู่มือการใช้งานนี้ อธิบายให้ทราบถึงวิธีการใช้อุปกรณ์อย่างถูกต้อง ใ้ระบุข้อมูลทางเทคนิคและการใช้งาน

เครื่องหมายคำเตือนในคู่มือทราบถึงอันตรายบางส่วนที่อาจเกิดขึ้นจากการใช้งานของอุปกรณ์ แต่ไม่อาจบอกได้ทั้งหมด ตรวจสอบที่ Petzl.com เพื่อหาข้อมูลเพิ่มเติมล่าสุด

เป็นการรับผิดชอบของคู่มือในการมีระดับรู้ค่าเตือนและการใช้อุปกรณ์อย่างถูกต้อง ข้อผิดพลาดในการใช้อุปกรณ์จะทำให้เกิดอันตราย ติดต่ Petzl หรือตัวแทนจำหน่ายที่มีข้อสงสัย หรือไม่เข้าใจขอความในคู่มือนี้

1. ส่วนที่เกี่ยวข้องกัน

อุปกรณ์นี้เป็นอุปกรณ์ป้องกันกันส่วนบุคคล (PPE) ใช้สำหรับยังั้งการตก

ตัวมีบับจับเชือก

ค่าการรับแรงสูงสุด 140 กก

อุปกรณ์นี้จะดองไม่รับน้ำหนักเกินกว่าที่ระบุไว้หรือไม่ป้ไปใช้ในวัตถุประสงค์อย่างอื่นนอกเหนือจากที่ได้ถูกออกแบบมา

ความรับผิดชอบ

คำเตือน

กิจกรรมที่เกี่ยวข้องกับการใช้อุปกรณ์นี้ เป็นสิ่งที่อันตราย

ผู้ใช้ต้องมีควมรับผิดชอบการกระทำที่ตัดสินใจและความปลอดภัย

ก่อนการใช้อุปกรณ์นี้ จะต้อง

- อ่านและทำความเข้าใจคู่มือการใช้งาน
- การฝึกฝน โดยเฉพาะเพื่อการใช้งานที่ถูกต้อง
- ให้ความสำคัญกับความสามารถและข้อจำกัดในการใช้งานของมัน
- เข้าใจและยอมรับความเสี่ยงที่เกี่ยวข้อง

การขาดความระมัดระวังและเอาดื้อยคู่มือนี้ อาจมีผลให้เกิดการบาดเจ็บสาหัสหรืออาจถึงแก่ชีวิต

อุปกรณ์นี้จะต้องถูกใช้งานโดยผู้ที่มีความสามารถเพียงพอและมีควมรับผิดชอบหรือใช้ในสถานที่ที่อยู่ในความรับผิดชอบโดยตรงหรือควบคุมได้โดยผู้เชี่ยวชาญ เป็นความรับผิดชอบของผู้ใช้งานคู่มือวิธีการใช้ การตัดสินใจควบคุมปลอดภัย และยอมรับในผลที่เกิดขึ้นจากวิธีการนั้น ไม่ควรใช้อุปกรณ์นี้ถ้าคุณไม่สามารถ หรือไม่อยู่ในสภาวะที่จะรับผิดชอบต่อความเสี่ยงที่จะเกิดขึ้นหรือไม่เข้าใจขอความในคู่มือการใช้งาน

2. ชื่อของส่วนประกอบ

- (1) ลำตัว (2) ลูกกล้อ (3) รูสำหรับเชื่อมต่อ (4) ที่จับนิรภัย (5) ข้อต่อวัสดุประกอบหลัก อลูมิเนียม สแตนเลส

3. การตรวจสอบ จุดตรวจสอบ

ความปลอดภัยของคุณขึ้นอยู่กับความสมบูรณ์ของอุปกรณ์ของคุณ Petzl แนะนำให้ตรวจสอบและเช็คของอุปกรณ์โดยผู้เชี่ยวชาญ อย่างน้อยทุก 12 เดือน (ขึ้นอยู่กับข้อกำหนดกฎหมายของประเทศและสภาพการใช้งาน) ทำตามขั้นตอนที่แสดงไว้ที่ Petzl.com บันทึกผลการตรวจเช็ค PPE ลงในแบบฟอร์มตรวจเช็ค ชนิด รุ่น ข้อมูลของโรงงานผลิต หมายเลขลำดับการผลิต หรือหมายเลขกำกับอุปกรณ์ วันที่ของการผลิตวันที่สั่งซื้อ วันที่ใช้งานครั้งสุดท้าย กำหนดการตรวจเช็คครั้งต่อไป ปัญหาที่พบ ความคิดเห็น ข้อของผู้ตรวจเช็คพร้อมลายเซ็นต้นการช่างแต่ละครั้ง

ควรเชื่อว่าไม่มีรอยแตกว่า รอยขีด ขีดปร่าง สีก่อน มีสนิมกัดกร่อน (บนโครงสร้าง ลูกกล้อ รูสำหรับเชื่อมต่อ ข้อต่อ) เช็คการเคลื่อนไหวของลูกกล้อ และการทำงานของสปริงของมัน ระหว่างการใช้งาน

เป็นเรื่องสำคัญอย่างยิ่งที่ต้องตรวจสอบสภาพของอุปกรณ์อยู่เป็นประจำ และการต่อเชื่อมอุปกรณ์เข้ากับอุปกรณ์ตัวอื่นในระบบ แนะนำว่าทุกชิ้นส่วนของอุปกรณ์อยู่ในตำแหน่งที่ถูกต้องกับชิ้นส่วนอื่น ระวังสิ่งแปลกปลอมที่อาจเข้าไปติดขวางการทำงานของลูกกล้อในการติดแนบกับเชือก ระวังแรงกดจากภายนอกที่กดลงบนตัวลูกกล้อ ตรวจเช็คสภาพของเชือก (เมื่อมันโคลน มีน้ำแข็งเกาะ...)

4. ความเข้ากันได้

ควรเช็ว่าอุปกรณ์นี้ สามารถใช้งานเข้ากันได้กับอุปกรณ์อื่นในระบบ (เข้ากันได้ = ใช้งานควบกันได้โดยไม่ติดขัด) อุปกรณ์ที่นำมาใช้งานร่วมกับ RESCUCENDER ต้องสอดคล้องกับข้อกำหนดมาตรฐานที่ใหม่กลับในแต่ละประเทศ (เช่น EN 362 เป็นมาตรฐานเกี่ยวกับตัวเชื่อมต่อ) ใช้กับเชือกมาตรฐาน EN 1891 type A semi-static kernmantel ropes ในขอบข่ายของมาตรฐาน EN 567 กำหนดให้เชือกขนาด 9-13 มม. ในขอบข่ายของมาตรฐาน EN 12841 กำหนดให้เชือกขนาด 10-13 มม. (หมายเหตุ ในการทดสอบได้รับการรับรองว่าใช้ได้กับเชือก BEAL Antipodes 10 มม และเชือก PETZL GRIP 13 มม)

5. การทำงานและการทดสอบ

RESCUCENDER ทำงานด้วยการรับน้ำหนักความเชือกในทิศทางหนึ่ง และลือกเชือกในอีกทิศทางหนึ่ง เมื่อรู้สำหรับเชื่อมคูดูกสิ่ง แกนของลูกกล้อจะหมุนรอบตัวเองและทำการบีบเชือกติดกับโครงสร้างตัว ลูกมีขวยจะดองหมุนไปมาได้อย่างอิสระอยู่เสมอ คำเตือน การดึงที่ลำตัวของอุปกรณ์จะทำให้ระบบลือกไม่ทำงาน แรงที่กดลงบนลูกกล้อจะทำให้ระบบลือกไม่ทำงาน ห้ามมีนิ้วตัว RESCUCENDER โดยไม่มีข้อทั้งสองข้าง

6. การติดตั้ง RESCUCENDER

การดึงที่จับนิรภัยสองตำแหน่งพร้อมกัน จะทำให้แกนลูกกล้อถูกเปิดออก ทุกครั้งที่ปลดตัวอุปกรณ์ เช็คให้แน่ใจว่าที่จับนิรภัยได้ถูกปิดเรียบร้อยแล้ว (มองไม่เห็นส่วนวงซีดีสีแดง) ในการติดตั้งอุปกรณ์แต่ละครั้ง ให้ตรวจสอบเข้าว่ามีนปลือกในทิศทางที่ต้องการเสมอ ตัวอย่างวิธีการใช้งาน การลือกเชือกเลื่อนย้าย ตัวมีบับจับเชือกแบบเคลื่อนไปข้างหน้า แนะนำให้ใช้ตัวมีบับจับเชือกสองตัวด้วยกัน และ/หรือ ให้ในระบบควบคุมเชือกสำรอง ใ้รวมกับหมวดคำต่อที่มีความยาวสูงสุดไม่เกิน 1 เมตร (เชือกสั้น + ตัวต่อ + อุปกรณ์) ดองไม่มีเรื่องข้อกำหนดความยาวสูงสุดที่สามารถใช้ได้ เชือกที่อยู่ระหว่างตัวมีบับจับเชือก กับจุดผูกยึดดองดึงอยู่เสมอเพื่อลดความเสี่ยงจากการตก

7. ข้อมูลเพิ่มเติม

อุปกรณ์นี้ผลิตตามข้อกำหนด (EU) 2016/425 ในเรื่อง อุปกรณ์ป้องกันกันส่วนบุคคล EU รายละเอียดขอรับรอมมาตรฐาน สามารถหาได้ที่ Petzl.com - ตามขอบข่ายงานของมาตรฐาน EN 12841 RESCUCENDER จะต้องใช้ร่วมกับอุปกรณ์ type A Backup บนเชือก (ป้องกันภัย) เส้นที่สอง - RESCUCENDER ไม่เหมาะสำหรับใช้ในระบบขั้นังการตก - อนุญาตให้ใช้เชือกเซฟที่ทำการรับแรงในขณะที่ยึดเชือกสั้นที่ง่วนอยู่ในสภาพที่ดึง - การกดของแรงเบียดหมุนสามารถทำให้เชือกเสียหายได้ - คุณจะต้องมีแผนการกู้ภัยและวิธีการทำได้อย่างรวดเร็วในกรณีที่มีประสบบความยุ่งยากขึ้นในขณะที่ใช้อุปกรณ์นี้ - จุดผูกยึดในระบบ จะต้องอยู่เหนือตำแหน่งของผู้ใช้งาน และทำตามข้อกำหนดของมาตรฐาน EN 795 (ความแข็งแรงคงในน้อยกว่า 12 kN) - ในระบบขั้นังการตกเป็นสิ่งสำคัญที่จะต้องตรวจเช็คพื้นที่ว่างด้านใต้ของผู้ใช้งาน ก่อนการใช้งานทุกครั้ง เพื่อหลีกเลี่ยงการหล่นไปกระแทกกับพื้นหรือสิ่งกีดขวางในกรณีที่มีการตกเกิดขึ้น - ดองแน่ใจว่า จุดผูกยึดอยู่ในตำแหน่งที่ถูกต้องเพื่อลดความเสี่ยง และระยะทางของการตก - สายรัดนิรภัยเป็นเพียงอุปกรณ์ที่ช่วยพุงว่างๆ ในระบบขั้นังการตกเท่านั้น - เมื่อใช้อุปกรณ์หลายชนิดร่วมกันอาจเกิดผลรวมความปลอดภัยในกรณีใช้อุปกรณ์ชนิดหนึ่งที่ถูกลดประสิทธิภาพลงด้วยส่วนประกอบเพื่อความปลอดภัยของอุปกรณ์ชนิดอื่น - คำเตือน อันตราย ดูอุปกรณ์โดยหลีกเลี่ยงการถูกสัมผัสกับสารกัดกร่อน หรือวัตถุที่มีพิษกับผิวหนัง - ผู้ใช้งานต้องมีสภาพร่างกายแข็งแรง เหมาะกับกิจกรรมในที่สูง คำเตือน การห้อยตัวอยู่ในสายรัดสะโพกเป็นเวลานานอาจมีผลทำให้เกิดการบาดเจ็บสาหัส หรืออาจถึงแก่ชีวิต - คู่มือการใช้งานของอุปกรณ์แต่ละชนิดที่ใช้เชื่อมต่อกับอุปกรณ์นี้ต้องปฏิบัติตามอย่างเคร่งครัด - อุปกรณ์ ถูกส่งไปจำหน่ายซึ่งนอกอาณาเขตของประเทศเป็นแหล่งผลิต ตัวแทนจำหน่ายจะต้องจัดทำคู่มือการใช้งานในภาษาท้องถิ่นของประเทศที่อุปกรณ์นี้ถูกนำไปใช้งาน - แนะนำว่าไปเครื่องหมายความที่ติดบนอุปกรณ์สามารถอ่านได้ชัดเจน **คู่มือหลักการใช้อุปกรณ์เมื่อไร** ขอควรระวัง ในกิจกรรมที่มีการใช้อุปกรณ์แรงอาจทำให้อุปกรณ์ต้องถูกเลิกใช้แม้หลังจากการใช้งานเพียงครั้งเดียวที่มี ขึ้นอยู่กับชนิดของการใช้งานและสภาพแวดล้อม (สภาพที่แจ้งหยาบ สถานที่ไกลทะเลสิ่งของมีคม สภาพอากาศที่รุนแรง สารเคมี) อุปกรณ์จะต้องเลิกใช้ เมื่อ - ใดเคยมีการตกกระชากอย่างรุนแรง (หรือเกินขีดจำกัด) - เมื่อไม่ผ่านการตรวจเช็คสภาพ เมื่อมีข้อสงสัยหรือไม่แน่ใจ - เมื่อไม่ทราบถึงประวัติการใช้งานมาก่อน - เมื่อตกครุน ลาสมีขยจากการเปลี่ยนกฎหมายมาตรฐานเทคนิค หรือ ความเข้ากันไม่ได้กับอุปกรณ์อื่น ทำลาอุปกรณ์เพื่อหลีกเลี่ยงการนำกลับมาใช้อีก **สัญลักษณ์** **A. ไม่จำกัดอายุการใช้งาน - B. สภาพภูมิอากาศที่สามารถใช้งานได้ - C. ขอควรระวังการใช้งาน - D. การทำความสะอาด - E. ที่ให้แหวง - F. การเก็บรักษา/การขนส่ง - G. การบำรุงรักษา - H. การคิดแปลงเพิ่มเติม/การซ่อมแซม (อนุญาตให้ทำภายนอกโรงงานของ Petzl ยกเว้นส่วนที่สามารถใช้ทดแทนได้) - I. คำอ่าน/ติดต่อ**

อุปกรณ์มีการรับประกันเป็นเวลา 3 ปี

เกี่ยวกับอุบัติเหตุหรือความบกพร่องจากการผลิต ข้อยกเว้นจากการรับประกัน การชำระคบกพร่องจากการใช้งานตามปกติ ปฏิบัติวิชาชีพสาธารณะ การแก้ไข/ดัดแปลง การเก็บรักษาไม่ถูกวิธี ความเสียหายจากอุบัติเหตุ ความประมาทเลินเล่อ การนำไปใช้งานที่นอกเหนือจากที่อุปกรณ์ได้ถูกออกแบบไว้

เครื่องหมายคำเตือน

- 1. สถานการณ์เสี่ยงที่อาจจะเกิดอันตรายบาดเจ็บสาหัส หรือ เสียชีวิต 2. มีความเสี่ยงในการเกิดอุบัติเหตุ หรือ การบาดเจ็บ 3. ข้อมูลสำคัญที่เกี่ยวกับระบบการทำงาน หรือ คุณสมบัติของอุปกรณ์ 4. ความเข้ากันไม่ได้ของอุปกรณ์

เครื่องหมายและข้อมูล

- a. มีคุณสมบัติตามข้อกำหนดของอุปกรณ์ PPE โดยเฉพาะที่บอกถึงการทดลองผ่านมาตรฐาน EN - b. หมายเลขรับรองที่ผ่านการทดสอบที่ใ้ในการควบคุมการผลิตของ PPE นี้ - c. การสืบมาตรฐาน ข้อมูลแหล่งกำเนิด - d. ขนาด - e. หมายเลขลำดับ - f. ปีที่ผลิต - g. เดือนที่ผลิต - h. หมายเลขลำดับการผลิต - i. หมายเลขกำกับตัวอุปกรณ์ - j. มาตรฐาน - k. อานคู่มือการใช้งานและเชิด - l. ข้อมูลระบุรุ่น - m. ที่อยู่ของโรงงานผลิต